

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 林業循環成長対策森林整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 整備係 電話番号：058-272-1111(内4386)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,330,145 千円 (前年度予算額： 1,330,145 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,330,145	1,330,145	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,330,145	1,330,145	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

第4期岐阜県森林づくり基本計画では、森林資源の循環利用ができる森林づくりと、木材の安定供給による林業、木材関連産業の振興のために、5か年間で間伐48,000ha、再造林3,100ha、路網整備565kmを目標としている。

この目標達成に向けて、本事業では、国庫補助制度を活用して森林整備及びそれに付帯する路網整備等を実施している。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

木材加工施設等に対する原木の供給力強化や安定供給の為に、林業事業体等が実施する森林整備とそれに付帯する路網整備に対して助成する。

(イ) 内容

補助対象：森林整備（間伐、一貫作業（末木枝条集材＋再造林）、再造林、下刈り、鳥獣害対策）、路網整備（林業専用道（規格相当）、森林作業道）

機械器具の整備、関連条件整備（苗木運搬用のドローン等の購入又は賃借料等）

（３）県負担・補助率の考え方

（ア）森林整備、路網整備

１）補助率：定額（2/3または1/2以内）

２）補助額：森林整備：間伐 上限：標準事業費（国費10/10）

一貫作業 上限：国の定める上限額（国費10/10）

再造林 上限：国の定める上限額（国費10/10）

下刈り 上限：国の定める上限額（国費10/10）

鳥獣害対策 上限：標準事業費（国費10/10）

路網整備：林業専用道（規格相当）

傾斜区分A～C 上限：定額（国の定める額）（国費10/10）

森林作業道 上限：定額（国の定める額）（国費10/10）

ただし、事業費が補助額を下回る場合はその額とする。

一貫作業・再造林は、県嵩上げを実施。

（コンテナ苗による植栽（原則として2,000本/ha以下）に限る。）

【拡】幼齢木保護設置箇所の下刈りは、3回までとする。

獣害防止施設（シカ防護柵・幼齢木保護）は、経済的に最も有利な工種の単価を補助上限とする。

（４）類似事業の有無 有

・森林整備事業（公共）は、主に本事業で対応できない等の箇所で実施する。

・環境保全林整備事業は、奥地や溪流沿いの林業経営に不適な地域の森林整備を実施する。

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,330,145	間伐、主伐・再造林、林業専用道（規格相当）等
合計	1,330,145	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「第4期岐阜県森林づくり基本計画」第6章 第2（２）（イ）木材の安定供給と森林所有者への利益還元において、課題となっている木材の安定供給・生産性の向上に積極的に取り組む必要があるとしている。

（２）国・他県の状況

ほぼ全ての県において同様の事業を実施している。

（３）後年度の財政負担

計画的な森林整備及び路網整備のため、適正規模の財政負担が継続的に必要。

（４）事業主体及びその妥当性

１）事業主体：県、市町村、森林組合、森林整備法人、林業事業体等

２）妥当性：国要綱に基づく。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第4期岐阜県森林づくり基本計画に基づき、森林整備について5か年間で人工造林3,100ha、間伐48,000haを実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①再造林面積 ha/年	185	283	800	1,000	合計 3,100	
②間伐面積 ha/年	6,871	5,241	9,600	9,600	合計 48,000	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	森林整備事業では人工造林を216ha、間伐を6,153ha実施した。 575千m ³ の木材が搬出された。
	指標① 目標：300ha 実績：216ha 達成率：72% 指標② 目標：9,600ha 実績：6,153ha 達成率：64%
令和5年度	森林整備事業では人工造林を266ha、間伐を5,861ha実施した。 599千m ³ の木材が搬出された。
	指標① 目標：400ha 実績：266ha 達成率：67% 指標② 目標：9,600ha 実績：5,861ha 達成率：61%
令和6年度	森林整備事業では人工造林を283ha、間伐を5,241ha実施した。 682千m ³ の木材が搬出された。
	指標① 目標：600ha 実績：283ha 達成率：47% 指標② 目標：9,600ha 実績：5,241ha 達成率：61%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	第4期森林づくり基本計画に基づき、木材生産量の拡大に向けた間伐材等の木材安定供給体制を確保するため、間伐等の森林整備及び路網整備を推進することは重要であり事業実施の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	人工造林面積の目標には及ばなかったが、人工造林283haと前年度より6%増加しており、概ねの成果が得られた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	定額単価に基づく定額補助方式となっており、補助金の査定等が容易である。また、定額単価と実際に要した経費とを比較し、少ない方の金額で補助金を交付する仕組みで運用しており、効率的な事業実施を重視している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 林内路網が整備されていない造林地からは、木材の搬出コストが高くなるため搬出がされていない。こうした区域からの搬出を推進するため、引き続き路網の整備を進める必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 第4期岐阜県森林づくり基本計画の目標達成にむけ、間伐及び作業道整備を推進して、木材の搬出を促進していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	